

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	(財)山梨県立郡内地域産業振興センター	所管課	観光企画・ブランド推進課
所在地	富士吉田市上吉田2277-3	設置年月日 (改築年月日等)	平成 5年 4月20日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県郡内地域地場産業振興センター、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立地域産業振興センター設置及び管理条例		
設置目的	地域で生産される工業製品、農産物等の展示等の機会と場を提供し、地域の産業の振興に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	1F 展示場(795.7㎡) 2F 会議室及び倉庫(117.9㎡、42人)		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室等の貸出に関する業務。 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務。 ・地場製品の展示・普及に関する業務。 ・その他知事が必要と認める業務。 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	道の駅 富士吉田(年間120万人来場)、富士山レーダードーム館、富士山アリーナ、レストラン&地ビールふじやま、富士吉田市歴史民俗博物館
---------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数		141,600	131,622	144,344	
	利用者数合計	141,600	131,622	144,344	
	目標値	163,784	165,359	166,934	168,508
	目標値設定の考え方	H14実績 (過去最高値) 157,485人の 4%増	H14実績 (過去最高値) 157,485人の 5%増	H14実績 (過去最高値) 157,485人の 6%増	H14実績 (過去最高値) 157,485人の 7%増
	対19年度比	100.0%	93.0%	101.9%	119.0%
	稼働率				

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	432,180	556,000	564,696	561,000
	指定管理者委託料	13,729,000	14,410,000	13,296,000	14,220,000
	その他				
	収入合計(A)	14,161,180	14,966,000	13,860,696	14,781,000
支出	人件費	8,170,624	8,179,000	7,931,000	8,179,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	5,558,376	6,787,000	5,365,000	6,602,000
	(うち外部委託費)(B)	2,043,000	2,744,000	2,125,000	2,662,000
	支出合計(C)	13,729,000	14,966,000	13,296,000	14,781,000
収支差額(A-C)		432,180	0	564,696	0
外部委託比率(B÷C)		14.9%	18.3%	16.0%	18.0%
利用者一人当りの経費		104	86	92	84

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法:お客様アンケート、回答数:80人
-------	--

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①展示場の雰囲気、レイアウト	65.1%	12.5%	20.1%	2.5%
②サービスの提供内容	63.8%	22.5%	11.3%	2.5%
③総合満足度	61.3%	7.5%	11.3%	20.0%
各項目の平均	63.4%	14.2%	14.2%	8.3%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・展示品の説明が少ない ・お土産の数が少ない(農産物もおいてほしい) ・どの順番で見たらよいか迷う ・いつ来ても変化がないレイアウト(インパクトがない) ・活気がない、明るくない
利用者の意見への対応	よりPRに努め県内外のお客様においでいただけるよう、レイアウト等も変化をつけていきたい。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	機械設備の保守点検を定期的に行うとともに、必要な消耗部品の交換を行うことにより、機械設備の故障を未然に防止し、大規模な修繕が必要とならないように努めている。また、維持管理業務経費について、縮減を図っている。	事業計画書のとおり適正に執行されている。
運営業務	時期に応じて開館時間を延長することにより、利用者の利便性を向上させることができた。また、企画展の開催により、地域住民や観光客に対して様々な機会を提供することができた。	企画展の開催や常設展示の更新などに努めた結果、来館者数が増加したが目標値に達していない。展示手法や来館者へのサービス向上などについて更なる工夫に努めるとともに、レストランや周辺施設との連携をさらに強化させること。
自主事業	積極的に実施している。	地場産業振興センターとして地場産品の周知・紹介のための事業を行っており、地場産品の販路開拓に資する事業である。地場産品の普及拡大の起爆剤として商品化した「蜻蛉・TONNBO」の販路拡大に向けて引き続き努力されたい。
利用状況	企画展や体験教室等の事業を実施して、来館者の増加を図ったことにより、入館者は増加した。広告宣伝活動により力を入れ更に入館者の増加を図っていききたい。	集客のための様々な努力を行っているが入館者数の目標を達成していない。会議室の利用件数については、増加したが引き続き努力が必要。入館者や会議室利用件数の増加が図られるようPR活動に努めること。
収支状況	前年度を下回る予算規模の中で、支出を抑える努力を行った。	引き続き利用料金収入の増加や経費削減に努めること。
利用者満足度	アンケートの多くに好意的な意見が多く、再度訪れたいと思っただいたお客様が数多くいた。	展示や接客、サービスに対して一定の評価を得られているが、展示に関する満足度が低下していることから引き続き努力されたい。郡内地域地場産業センターの好感度アップに向けた取組みを続けていくこと。
運営目標の達成状況	年間を通じた企画展やイベントの開催、広報活動などを行った結果、入館数は前年から増加し目標値の8割を超えていることから、概ね達成していると認められる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	概ね良好である。 ①展示や接客、サービスに対して一定の満足度が得られているが、展示に関する満足度が低下していることから工夫が必要である。 ②利用料金収入、入館者数の増加に向けて、広報宣伝活動などの取組みを強化していく必要がある。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	会議室と研修室の同時利用のニーズに対応するため、研修室の利用料金を値下げして、会議室の利用機会の増加対策を行った。 企画展の開催や常設展示の更新などについて、新しい展示新鮮なサービスなど更に工夫に努めていくこととした。 レストランや道の駅などの周辺施設との連携をさらに強化し、観光誌などに機会をとらえて広告を掲載し誘客を推進していくこととした。 ホームページも定期的に更新し、常に新しい情報を提供するようしていくこととした。	

7. 管理体制(組織図)

